

子どもの可能性は無限大 ＝ 夢に向かって突き進め！ ＝

6年生国語で「将来の夢」について相手に伝える話し方を工夫しながら、一人ずつ2分程度のスピーチをしました。大勢が見守る中で、緊張

しながら一生懸命発表する姿を見て、「この子らは、可能性の塊だな」と感じました。

そして、一昨日の夕方、20年ほど前に一緒に勤務していた元同僚からの電話のことを思い出しました。電話の内容は、私が担任していた元生徒が、「早坂ガブ」というペンネームで「女子高校生刑事 白石ひなた」（少年サンデーコミックス）というコミックを2月18日に発売したという内容でした。驚くとともに、直ぐに、当時の彼女のことを思い出しました。また、このことがきっかけで、今まで自分が受け持った人たちがどんな職業に就いているかを思い出してみました。

小中学校の先生、大学教員、歌手、会社社長、ラジオのレポーター、大手自動車販売店、ペンキ屋、左官、鉄工所経営、警察官、市役所職員、農業、、、ざっと、思い起こしても様々であることにあらためて気がつきました。

どんな職業であっても、喜びや充実感を得られることが一番大事ですが、まずは本人が目指す職業に就ければすごく嬉しいに違いありません。平山小の子どもたちも夢を叶えるためには、人やチャンスとの幸運な巡り会いも大事な要件でしょうが、自分の可能性を信じながら自身を磨いていく過程が必要不可欠だと思います。素直な心で助言を受け止めたり、感謝したり、反省したりしながら「自分磨き」のできる子どもに育てていきたいものです。

「ゆめ」

わたしは ゆめみるカメ

もつと つよくなりたいたいと ゆめみるカメ

もつと はやくなりたいたいと ゆめみるカメ

いつも のそのそ ゆっくりあるき

どうぶつがきたら びくびく かくれ

いつか こつらが パキッとひびわれ

ちかくのびょういんに ひとつとび

とてもいそいでいるつもりでも

まるーにちかけて やつとついた

「ふー、つかれた」

ひといきついで みてもらい

なおつたこうらを みてみると

ほかのカメよりきれいだった

くろうしてきたかいがあつた

くろうすれば いつかはきつと

ゆめがかなう

そうおもつて あしたもまた がんばろう



（4年〇〇さんの詩です）